

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月19日

協議会名: 上里町地域公共交通活性化協議会
 評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
朝日自動車(株) 本庄駅南口～神泉総合支所	[起点] 本庄駅南口 [主な経由地] 小島南・沖電気前 [終点] 神泉総合支所	【運行事業者・沿線市町】 年度内に2回、運行事業者及び沿線市町で集まり、今後の運行内容等について協議・検討を実施した。 【運行事業者のみ】 令和6年9月～10月と令和7年3月～4月の共通学生フリーパス販売時期に合わせ沿線学校や、自社ホームページ及びバス車内で周知し、販売促進を図った。	A 事業が計画に位置付けられた通り、適切に実施された。	A 輸送人員目標157,758人に対して実績は206,913人で目標達成となった。 要因としては、令和5年度に実施した路線延長による影響に加えて、利用促進方策の実施により、沿線施設への利用が増加したことが要因と考えられる。	【運行事業者・沿線市町】 ・交通事業者及び沿線市町において、路線バスの利用促進に係るPR活動を実施していく。 【運行事業者のみ】 ・引き続き共通学生フリーパスの販売促進を図る。 ・スマホ定期券の販売促進を図る。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・共通学生フリーパスの販売促進の実施について評価する。引き続き自治体とも連携し、効果的な利用促進策の検討を進めていくことを期待する。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。 				
第三者評価委員会における各委員からの意見	令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村においてより連携を図っていただくことが重要。 ○利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討していくことを期待する。				